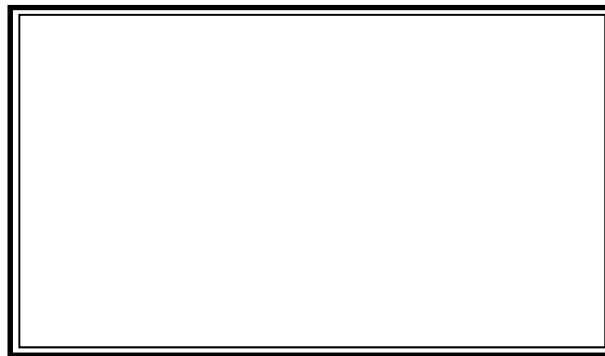


宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA) , 国際低平地研究協会 (IALT)

No.70

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成24 (2012) 年9月24日

ISLT2012 開催報告



9月11日(火)~13日(木), インドネシア・バリで低平地に関する国際会議 ISLT 2012 が開催されました。本会議は, 佐大・博士後期課程を修了されたハサヌディン大学のサマン教授やトリ准教授を筆頭とする現地実行委員会のご尽力のもと, 第8回目の開催に至ったものです。LORA や佐大・工学系研究科都市工学専攻からのサポートを始め, 多くの関係機関・各位のご理解・ご協力のお陰で, 210名・17ヶ国からの参加者を得た大きな会議となりました。開会式にはインドネシア政府機関の要人を始め, ハサヌディン大学副学長が駆けつけて下さるなど, 本会議に対する現地の高い関心・期待が伺えました。また, 当センターの木梨真知子博士が優秀講演者賞を受賞されるなど, 佐賀に立脚する若手研究者の活躍が目立ちました。次回は2年後に佐賀で開催されます。

ISLT Council Meeting 報告



ISLT2012 に先立ち 10 日午後, 同会場で IALT 運営委員会を開催しました。マダフ会長他 12 名が出席し, 前年度決算, 本年度予算と活動計画, 役員交代, ジャーナル, 会員増強などについて活発に審議されました。これらの結果は翌日の総会で ISLT 参加者に報告されました。

平成 24 年度 第 1 回 月例勉強会開催報告



7月5日(木), 第1回月例勉強会を開催しました。22名の産学官関係者からなる参加者のもと, 佐賀県・高田俊行氏に「県土づくり本部が抱える課題の抽出と絞り込み」の題目で話題提供いただきました。佐賀県では, 市町が作成した高潮ハザードマップを活用した防災対策の推進と有明海沿岸の高潮浸水想定図の作成が予定されており, 減災対策として二線堤の有効活用が検討されています。ディスカッションでは, ハザードマップの活用状況や二線堤の現状, 高潮被害とその対策などについて活発な意見交換がなされました。

各専門部会の活動報告

地盤専門部会 開催報告



7月26日(木), 「佐賀地域の地質」技術研修会を開催しました。第3回目を迎えた今回の研修会では, 52名の参加者を得, 九州大学大学院・下山正一博士および日野幹事長・地盤専門部会長による講習が行われ, その後, 実技指導が行われました。本研修会は今後2ヶ年度にかけて継続される予定です。

また, 8月8日(水)には, 上海交通大学・沈水龍教授ならびに中国地質大学・楊宇友准教授をお招きし, 「中国の地盤工学における最近の研究の動向と解説」と題する国際講演会を催しました。通訳・解説をお務めいただいた佐大・柴錦春教授の名進行のもと, 参加者数 30名のフロアからは活発な質疑応答や意見交換が繰り広げられました。

経済専門部会 開催報告

夏季バスツアー「菊池川と有明海の歴史を訪ねて」

「経済専門部会」では、8月18日(土)に「菊池川と有明海の歴史を訪ねて」と題して、夏季バスツアーを実施しました。

今回のツアーの目的は、熊本県菊池市と山鹿市を訪ねて、菊池川の恵みを理解しながら、日本の古墳時代と飛鳥時代の菊池川流域の豊かさを見ることによって九州王朝説の根拠を確認することでした。まず、熊本県立装飾古墳館(山鹿市)を訪問し、6~7世紀の装飾古墳は九州の菊池川流域と筑後川流域にそのほとんどが立地することの意味について説明されました。次に、歴史公園鞠智城を訪問し、鞠智城は白村江の戦い(663年;古田説 662年)に倭軍が唐・新羅の連合軍に大敗した後に築かれた山城であることが説明されました。最後に、道の駅七城メロンドームを訪問し、竜門ダムの恵みのメロンやメロンアイスを食べ、帰途に就きました。参加者は学生と一般人あわせて26名でした。



水専門部会 開催報告

第15回日本水環境学会シンポジウム現地見学会

9月10(月)~11日(火)に開催された第15回日本水環境学会シンポジウム開催にあたり、LORAではセンターおよび学会九州支部との共催として、9月12日(水)、8時から16時まで、佐賀の水環境を巡る現地見学会を開催しました。当日は29名の参加者を得、佐賀の治水・利水・環境に関わる施設や現地6箇所(さが水ものがたり館(荒牧館長)、巨勢川調整池(国交省・糸山様)、干潟よか公園(佐賀市・碓様、内山様)、佐賀市下水浄化センター(山口所長)、佐賀県有明水産振興センター資料館(佐賀県・野口様)、六角川河口堰(国交省・高木様))を見学しました。

とくに水環境の研究者や実務者の興味を引いたのは、佐賀市下水浄化センターの取り組みでした。ここでは、汚泥の堆肥化施設を整備し、良質な下水汚泥の肥料化がなされるとともに、メタンガスの有効利用、および下流域のノリ生産者との話し合いの中で、平成19年から冬期(海苔養殖期)の硝化抑制と夏期(ノリ休漁期)の硝化促進を試みています。丸一日かけた見学会最後の挨拶で、佐賀と言えば「低平地」を忘れずに伝え、見学会を無事終えました。見学会開催にあたり、各現場での説明をお願いしました関係者に感謝申し上げます。



会員動向

1952年より、上下水道、農業用水、住宅給排水向けの硬質塩化ビニル管の製造で社会に貢献してきています。生活に欠かせないライフラインを繋ぎ、支え続けるプラスチックパイプ企業として、東北被災地に対する緊急資材の提供や工事支援、また、僅かながらですが自治体への資金援助活動も行っています。近年では耐震型のポリエチレン管の製造を通じ、施工が早く災害にも強いライフラインづくりに力を注いでいます。九州工場として佐賀県に立地し、来年で15周年を迎えます。地元企業として「低平地」特有の課題解決へ向けた取組みにも貢献していきたいと考えています。



(特別会員：九州積水工業株式会社)

低平地研究会活動内容・日程の案内

第2回低平地月例勉強会

日時：平成24年10月11日(木) 15:00~16:30
場所：自治会館4階大会議室
議題：佐賀平野大規模浸水危機管理計画について
議題提供：山本佳久氏(国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所技術副所長)

歴史専門部会

バスツアー「環濠集落を歩く」

日時：平成24年11月16日(金) 13:00~17:00
雨天時は11月30日(金)
場所：姉川城址周辺(神埼駅集合)
参加費：無料(神埼駅までの交通費は自己負担)

地域デザイン専門部会

講演会

日時：平成24年11月28日(水) 15:00~16:30
場所：佐賀大学地域連携デザイン工房
演題：「次世代の公共空間を問う」
講師：小泉秀樹氏(東京大学大学院准教授)
赤松佳珠子氏(建築家、c+a代表取締役)
脇山芳和氏(大牟田市副市長)
コディネーター：三島伸雄氏(佐賀大学大学院准教授)

編集後記

9月30日をもってセンターを離任することになりました。これまで有難うございました。次号からのニューズレターは木梨研究員が編集長を引き継ぎます(原)。

編集担当：原、三島(hara@ilt.saga-u.ac.jp)